本堂脇展望台から 回向（えこう）する

犬山・寂光院山主
松平實胤（まつだいらじついん）


千手観音（本堂）

お元気でいらっしゃいますか

今焦眉の問題は「コロナの終息」です。昨今、幸いにも新しい生活様式が定着し、ウイルス接種も軌道に乗り始めました。どんな長い闇夜も明けない夜はありません。謙虚さを失うことなく、「日々是好日・感謝の日暮らし」でその日を迎えたいと存じます。

さて、コロナが始まってこの一年ほど、日常生活がいささか窮屈になりましたので、継鹿尾山に「お一人登山」をされる方、「お一人静かにお参り」される方が多くなりました。

内に向く眼を外に回し向ける＝回向（えこう）

皆さん尾張美濃を見晴るかす本堂脇の展望台で、しばしぼんやりたたずんでみえます。少しせせこましくなった心がすこしずつ広がっていくのでしょう。しばらくすると穏やかな顔に戻られます。自分にしか向かない狭い眼が、視野が拡がるにつれ、外に回し向けることができるのでしょうか。まさに「回向（えこう）」です。愛知、岐阜、目に入るすべてのまちの人々の幸せを祈るようなおおらかな気分になられるのでしょうか。

本堂前では一人静かに千手観音様に手を合わせて拝んでおいでになります。しばらくしますと爽やかなお顔になられます。

手を合わせて拝む＝本来の自分に戻る

誰でも例外なく、「本来の自分」があります。本来の自分は仏様の心、仏心そのものです。しかし、社会で、家庭で、つい「貪り心」、「怒り心」、「愚かな心」が優先して、本来の自分を見失いがちになります。しかし、すすんで手を合わせて拝むうちに、不平不満が感謝の気持に、おごり自惚れが素直な謙虚な気持ちに、恨み妬（ねた）み嫉（そね）み僻（ひが）みが少しずつ薄れて爽やか気持ちに変わっていかれるのでしょう。拝むことは本来の自分を取り戻すことです。ですから、手を合わせて拝むと心が落ち着いて安らかな爽やかな心が戴けます。さらに「今を前向きに精一杯生きる力」が蘇ります。

心の健康＝体の健康

莫大な情報量の中で、現代人は数多（あまた）のストレスを抱えて生きなくてはなりません。誰でも自分を見失ってしまいます。総じて現代人は多忙です。忙しさのあまり、行動を決定する基準を見失いがちです。まさに「忙（心を亡くす・心を滅ぼす）」今心がここに無い状態が日常になりました。おりおりに本来の自分を取り戻す、真心を取り戻す事が必要です。折々に手を合わせて拝むことは、「心身の健康」にも繋がります。

幸いにも私には日日必ず手を合わせて拝む時間があります。しかし、残念ながら、効き目は長く続きません。日常生活に戻るとまた「元の木阿弥」、皆様御存知のこの体たらくです。しかし、毎日繰り返すことで、自分を見失わぬよう、更に「回向」のこころが頂戴できるよう、一層「拝む心」を大切にしたいと思っています。

皆様、お心、お体をお大切に、益々のご清栄をご祈念申し上げております

合掌

令和三年夏